

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

未来の山口の授業 at School 2021

生雲の360°図鑑

インターネット（特設ウェブサイト）で公開中

<https://zukan360.yamaguchi-ygc.ed.jp>

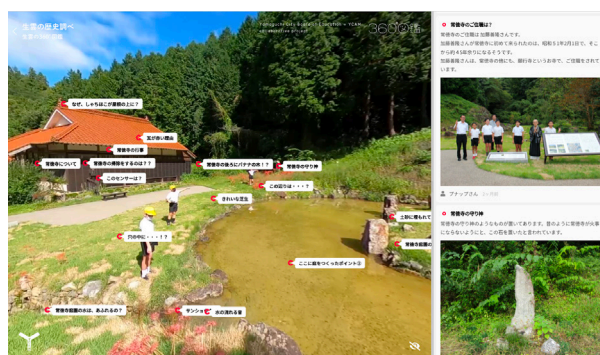
タブレット端末を活用した「地域学習」のアップデート 山口市立生雲小学校での取り組みの成果を公開！

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAMが山口市立生雲小学校で実施した教育プログラム「生雲の360°図鑑」の成果をインターネットで公開しました。

「生雲の360°図鑑」は、これまで生雲小学校で生活科や社会科などの授業で実施されている地域学習を、YCAMが持っているメディアテクノロジーのノウハウを用いてアップデートしたものです。山口市教育委員会との共同で、YCAMが開発した教育プログラムを山口市内の小・中学校で実施する「未来の山口の授業 at School 2021」の一環として実施しました。

このプログラムでは、児童たちが自分達の住む地域のことを調査し、それに基づいてテキストや写真、映像などのコンテンツを作成。全天球のパノラマ映像のなかにマッピングしながらまとめていきます。今回、公開したのは、このプログラムの過程で作成されたウェブ図鑑になります。

表現力やプログラミング的思考力を身につけることなどを企図した本プログラムの成果をぜひご覧ください。2022年度も本プロジェクトは継続し、山口市内のモデル校を増やしていきます。



生雲の360°図鑑



児童が360°図鑑を制作している様子
(撮影：塩見浩介)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

YCAMが目指す持続的な学びのサイクル



教育プログラムのひとつ「音景クルーズ」 撮影：田邊アツシ

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。それらは単なるメディア・リテラシーの向上や知識の強化だけではなく、普段の生活に新たな視点をもたらし、物事を捉える想像力／創造力の向上にもつながるよう設計されており、キッズデザイン賞を受賞するなど外部からも高い評価を得ています。

2016年からはこうした取り組みを、新たな教育モデルとして持続的に展開し、世界へ発信できるよう、「未来の山口の授業」という枠組みで実施しています。この中では、YCAMがこれまでに開発してきた多彩な教育プログラムをYCAMで体験できる「at YCAM」、YCAMを飛び出し山口市内の小中学校で体験する「at School」、そして近年の研究をもとにした実験中のプログラムを体験できる「β（開発版）」の3つの展開で、YCAMの持続的な学びのサイクルを進めてきました。

2021年度は、山口市教育委員会がYCAMと推進する先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、「未来の山口の授業 at School 2021」を実施。文部科学省の「GIGAスクール構想」などの影響で急速に進む教育現場のICT化に対応した授業開発を、教員とYCAM、そして山口市の小学校でプログラミング教育の普及に貢献してきたファブラボ山口とともに取り組んできました。

タブレット端末を活用した「地域学習」のアップデート



「生雲の360°図鑑」の成果を生雲小学校で発表する様子
(撮影：塩見浩介)

2021年9月から11月にかけて山口市立生雲小学校で教育プログラム「生雲の360°図鑑」を実施しました。今回公開したのはこの成果として作成したウェブ図鑑です。

このプログラムは同校で全学年が取り組む「地域学習」にフォーカスをあてたもので、YCAMが過去に開発したバイオテクノロジーをテーマにした教育プログラム「森のDNA図鑑」の知見を応用しています。

プログラムでは、生雲小学校の周辺にある常徳寺庭園や、生雲八幡宮といったスポットをピックアップし、児童たちがフィールドワーク調査を実施。そこで得られた気づきや発見などをタブレット端末を用いてテキストや映像、写真などでまとめます。そして、このプログラムのために開発した専用のアプリケーションを使って、生雲の周辺を捉えた全天球パノラマ写真のなかに埋め込んでいくことで「生雲の360°図鑑」を作成していきます。この図鑑はウェブ上で動作するため、他の児童が書き込んだコメントがリアルタイムで反映されることや、協働が行いやすいのが特徴です。

このプログラムを通じて、児童たちが自らが住んでいる地域の特徴を俯瞰しながら捉えられるようになるとともに、情報をわかりやすく発信・伝達する表現力や、プログラミング的思考力を磨くことができました。今後もモデル校の教員、児童たちのフィードバックを得ながら360°図鑑のアップデートと山口市内での実施を進めていきます。

■ 生雲小学校

1873年7月創立。JR山口線三谷駅より萩方面へ約6kmほど離れた場所にある。旧阿東町が2010年に山口市へ編入したことで、現在の山口市立生雲小学校となった。



撮影：塩見浩介

■ 森のDNA図鑑

DNA解析技術を用いてオリジナルの植物図鑑をつくることで、植物への複眼的な見方を学ぶ教育プログラム。



開催概要

未来の山口の授業 at School 2021

生雲の360°図鑑

インターネット（特設ウェブサイト）

<https://zukan360.yamaguchi-ygc.ed.jp>

※2022年度以降も随時コンテンツを追加予定

主催：山口市、山口市教育委員会、公益財団法人山口市文化振興財団

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]、山口市教育委員会、ファブラボ山口

